

みんなで想いを共有し 日本の未来を創ろう!!

未来共創室は、高校生の「思考力と対話力」を育成するために、地域や国際社会、また大学との連携をもとに幅広い教育を展開しています。

今まで学校は「知識」を獲得することを重視してきましたが、これからはその知識をもとに思考力や判断力を育成し、様々な人々とともに行動できる力を養成することが求められています。そのためには、実際に異なる社会や文化にふれあい、さらには自らが住む地域社会を理解し、そこで課題を発見する力を身に付けることが大切です。

このため市高では「市高レインボウプラン」をはじめ、「次世代プロデュース事業」を通して、まず、地元徳島を理解することで、地域社会と世界をつなぐことのできる思考力を獲得し、対話をもとに人々と協働して学ぶ姿勢を養い、大学や社会で活躍できる人材を育成していきます。



市高未来共創室の概要

- ・異文化キャラバン
- ・市高フォーラム
- ・高校生×サステナブル
- ・マルシェに出店
- ・市高レインボウプラン
- ・SDGs講演会
- ・市長とわくわくトーク



株式会社「あわえ」の代表取締役吉田基晴さんの「徳島は人口が少しく経済的には遅れているかもしれないが、逆に人口減少に関する対策は一番進んでいる。それは大きな武器である」という言葉が最も心に残りました。(異文化キャラバン)

自分の持ち味を生かして、これから社会貢献することに私も参加したいと思います。『きっかけをチャンスに』
視野を広げて、これからの高校生活に繋げていきたいと思います。(市高フォーラム)

市高ふるさと ネットワーク

- ・キャリアガイダンス
- ・卒業生に学ぶ
- ・サマーセミナー
- ・阿波女塾講演会



いつか人生の分岐点^なのかが分からぬから、そのときにできることは何なのかを考えて行動する。自分から行動していくことが、仕事をしていくのに大事なことだと知った。(阿波女塾)

日々目標を持ち、それに向かって努力することで、「なぜ勉強するのか」が分かるような気がしました。大学はもちろん「学びの場」ではありますが、たくさんの人と出会い、自分を見つめ直す場でもあることがわかりました。改めて、大学に行きたいと思いました。(卒業生に学ぶ)

高大連携

- ・甲南大学SDGsチャレンジ
- ・理数科セミナー
- ・市高ドナーアクション啓発委員会
- ・課題研究

このプロジェクトではSDGsのことについてはもちろん、私が住んでいる徳島についてや、自分の意見をしっかり相手に伝えることの大切さなど、非常にたくさんのことについて学ぶことができました。中でも意見を言うことの大切さについては、自分の中の既存の観念がかなり、今後的人生においてとても重要な「気づき」となりました。(関西湾岸SDGs)

「知らないことはマイナスではない」という本庶先生の言葉がとても心に残った。知らないことは恥ずかしいことだから誰にもばれたくない、頼りたくない今まで思っていた。この言葉を聞いて、知らないことは自分を気づかせてくれる大事なものだと考えるようになった。(理数科セミナー)



国際交流

- ・台湾姉妹校交流
- ・徳島大学留学生交流会
- ・ピアニスト石井さん演奏会
- ・多言語ラボ(中国語・ドイツ語)
- ・多文化交流事業



ドイツ語の先生のオープンマインドさが良かった。とても楽しかったし、ドイツに行きたいと思った。(多言語ラボ)

大村先生から英語以外の外国語を学ぶことの意義についてのお話をいただき、これから多言語ラボが楽しみになった。しっかり学んでいきたい。(多言語ラボ)



台湾の生徒さんはみんな日本語が上手でびっくりしました。私は英語が得意じゃないので単語をつなげて片言でしか話せなかつたけれど、ちゃんと言っていることを理解してくれて、話をふくらませてくれたのがとても嬉しくて、これからの英語の勉強が少し楽しみになりました。(台湾交流)

夢実現事業

- ・トレーナー派遣
- ・強豪校との強化試合
- ・講師招聘
- ・先進校視察

